

区立学校における一足制の導入について

1. 一足制とは

上履きを使用しないことにより、下足を履き替えることなく、校舎や校庭などの利用を可能とする施設運用制度

2. メリット

- ①昇降口の混雑緩和
- ②休憩時間の最大限の活用
- ③来校者の円滑な移動
- ④災害時の円滑な移動 など

3. 課題とその対応策

- (1)床の汚れ、水滴⇒床マットの工夫など
- (2)長靴⇒置き場の工夫(廊下、バルコニーなど)
- (3)衛生面(保健室、トイレ)⇒スリッパで対応など
- (4)プール⇒更衣室まで土足とするなど

4. 経過など

- ・導入済の学校への視察、ヒアリング
- ・モデル実施(鮫浜小) ※学校間で情報交換
- ・鮫浜小でのアンケート結果:導入に肯定的 70~80%
 - 肯定的意見:昇降口で混まない・お気に入りの靴を履くことができる・上履きを毎週洗わなくてよい・保護者会の時に楽など
 - 懸念事項:学校内が汚れるのではないか・同じ靴を履いていると蒸れるのではないかなど

<参考>

- ・23区では6区で導入実績あり
- ・港区では26校中24校で導入

5. 今後について

各校において、校庭の種類など状況が異なることから、モデル実施校におけるアンケート結果などを踏まえ、一足制導入の考え方について検討していく